

平成 16 年度新農薬実用化試験で注目された病害虫防除薬剤

社団法人 日本植物防疫協会 試験事業部 **新井 真澄・門田 健吾**

平成 16 年度の新農薬実用化試験については、10 月 19 日の寒冷地果樹試験成績検討会を皮切りに、稻・野菜関係地域成績検討会ならびに総合判定会議、果樹等試験成績検討会、12 月 15 ~ 16 日の生物農薬試験検討会まで順次開催され、依頼された薬剤の各種病害虫に対する効果や薬害、使用方法の検討が行われた。

ここでは、平成 16 年度に依頼された試験の中で、注目された薬剤ならびにその傾向について紹介する。

I 新農薬実用化試験の動向

[殺菌剤]

本年度依頼された試験薬剤は 189 効果（生物農薬・展着剤を除く）で、複数の作物、病害に対して延べ 1,793 件の試験が公的試験研究機関等で実施された。薬剤数は数年間 230 前後で推移していたが本年初めて 200 を下回り、試験総件数では稻麦・野菜関係の分野ともにそれぞれ約 1 割の減少となった。試験薬剤中、受付時に登録のなかった新規化合物を含む薬剤数は全体のおよそ 15% であった（図-1）。

稻・麦関係では昨年同様、新規化合物のオリサストロビン、チアジニルを含む製剤、プロベナゾールと殺虫成分との混合剤などが多く見られ、これは例年と変わらない傾向であった。

本年は、試験対象病害の比率が例年と異なり、常に約半数を占めていたいもち病の試験は 28.7%，紋枯病は 7.3% となった。割合が増えたものとしては、内穎褐変病の 9.6% が目立ち、9 薬剤について試験された。またその他の中に含まれる種子消毒試験も多かった（図-2）。

いもち病、紋枯病の試験の減少は新規成分を含む箱粒剤の開発がほとんど終了したことによる。

野菜・花き類を対象とした試験では、前年から 1 割程度減少した。これは過去 7 年間で最も少ない件数で、新規化合物が全くなかったことも一因と思われる。病害の内訳は例年と変わらず、うどんこ病、べと病、疫病、灰色かび病、菌核病などが多い。このうちべと、疫病を合

わせると全体の 25% を占め、相変わらずこの分野の要望が高いことがわかる。

落葉果樹、寒冷地果樹、常緑果樹、茶、芝草については昨年とほぼ同様で目立った特長はなかった。なお生物農薬は昨年から大幅な減少を示したが、種子消毒を対象とした製剤が開発をほぼ終了したことによる影響が大きい。しかし、新規製剤 6 効果と多く、この分野の関心が相変わらず高いことをうかがわせる。

[殺虫剤]

本年度依頼された薬剤数は 242 効果（生物農薬・展着剤を除く），それぞれ複数の作物・害虫に対して延べ 2,771 件の試験が実施された。新規成分の単剤は 32 効果、新規成分と既知成分の混合剤は 6 効果であった（図-3）。

試験分野別に見ると、稻・麦関係では、ここ数年活発だった殺虫殺菌混合の育苗箱施用剤の試験が一段落し、薬剤数・試験件数とともに大幅に減少した。野菜関係は、既存剤を中心に、かぶ・ブロッコリー・チンゲンサイ・

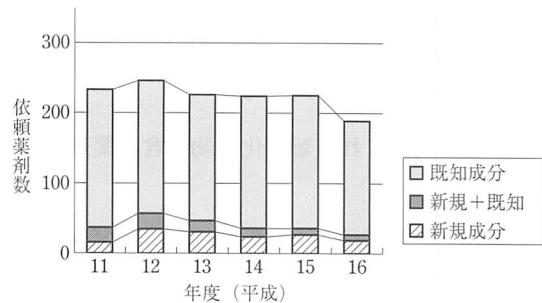


図-1 殺菌剤効果試験依頼薬剤数の推移

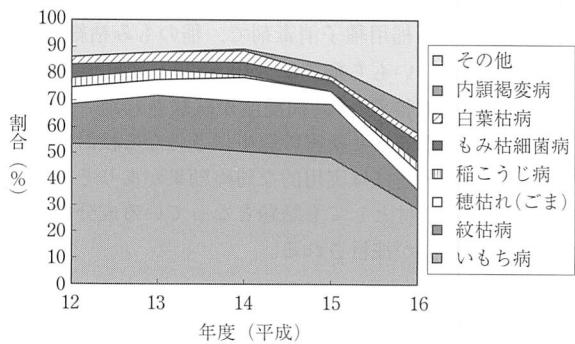


図-2 稲主要病害の受託割合

The Remarkable Pesticides for the Efficacy Study in Japan (2004).
By Masumi ARAI and Kengo KADOTA

(キーワード：殺虫剤、殺菌剤、JPPA、新農薬実用化試験、平成 16 年度)

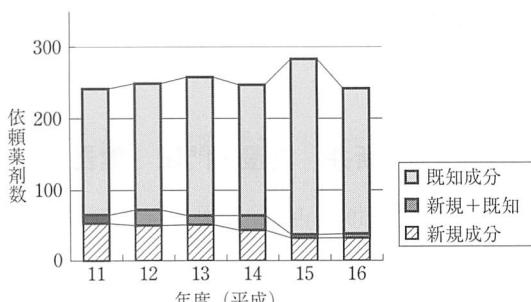


図-3 殺虫剤効果試験依頼薬剤数の推移

しゅんぎくといった、生産量はある程度あるが、登録がそれほど多くない作物に対する適用拡大試験が多く見受けられ、昨年より200件ほど増加した。また、対象害虫としては、ウワバ類・ネキリムシ・タネバエの試験が増加していた。

果樹分野では、ダニサラバフロアブルやIKA-2002フロアブルに代表されるハダニ類対象の新規薬剤が、昨年度の試験で多数の作物に実用性ありの判定を受けたこと、そしてネオニコチノイド系薬剤を中心とした果樹カメムシ類への試験が一段落したところから、大幅に減少した。茶分野は、近年多かったクワシロカイガラムシ・ツマグロアオカスミカメを対象とする試験を中心に大幅に減少した。

生物農薬分野は、ウイルス製剤の試験が多く、また新規製剤が6剤依頼されるなど、化学合成農薬に優るとも劣らない開発が進められている。

II 注目される新規化合物を含む薬剤

[殺菌剤]

平成16年度に試験された依頼申請時に未登録の新規化合物を含む薬剤（生物農薬を除く）は27剤で、単剤は19剤、混合剤は8剤であった。これらのうち本年度初めて依頼のあった成分は2剤と少なかった（表-1）。TKS-1は大幸TEC株式会社より依頼された精製木酢液を主成分とする稲用種子消毒剤で、稲のもみ枯細菌病、苗立枯細菌病、いもち病等に、10～20倍液1時間浸漬または20～30倍液24時間浸漬が試験された。処理濃度、時間による効果と薬害の発生にさらなる検討が必要であるが、細菌病には実用的な防除効果がありそうである。特定防除資材としても話題となっている成分であるが、今後の動向が注目される。

[殺虫剤]

平成16年度に試験された依頼申請時に未登録の新規化合物を含む薬剤（生物農薬を除く）は38剤で、単剤

表-1 平成16年度に初めて依頼のあった新規化合物（病害防除）

薬剤コード・成分	依頼作物・病害	備考
KNF-45 フロアブル 20%	芝：ダラースポット病、葉腐病（プラウンバッチ）、葉腐病（ラージバッチ）、炭疽病	新規DMI剤
TKS-1	稲：苗立枯細菌病、もみ枯細菌病、いもち病、ばか苗病、ごま葉枯病	精製木酢液

表-2 平成16年度に初めて依頼のあった新規化合物（害虫防除）

薬剤コード・成分	作物・病害虫	備考
MBCI-034 乳剤 Azadirachtin 1.2%	トマト・いちご コナジラミ類・ハダニ類	幼若ホルモン様作用により、脱皮・変態・羽化を阻害する
RM1963K RM1963 乳剤 新規化合物 85%	トマト・なす ハダニ類・チャノホコリダニ・トマトサビダニ	殺卵効果を有する物理的防除剤 処方を変えた2製剤で試験
SYJ-159 乳剤 新規化合物 1.8%	きく・ばら・カーネーション ハダニ類	非食用分野のハダニ類を対象
SI-0404 顆粒水和剤 新規化合物 10.0%	ばれいしょ・なす アブラムシ類・アザミウマ類	やや遲効的だが、浸透移行性を有し、粒剤でも試験
SI-0405 粒剤 新規化合物 1.0%		

は32剤、混合剤は6剤であった。これらのうち本年度初めて依頼のあった成分は4剤であった（表-2）。

本年度初めて依頼のあった薬剤のうち、MBCI-034乳剤（丸和バイオケミカル）は、インドセンダン（ニーム）に含まれ幼若ホルモン様作用を有するアザディラクチンを有効成分とする薬剤で、本年度の試験では、コナジラミ類には登録に十分な防除効果が認められていたものの、ハダニ類には防除効果が認められていなかった。RM1963（RM1963K）乳剤（東亞合成）は、物理的防除剤で殺卵効果を有する。SYJ-159乳剤（シンジェンタジャパン）は、殺ダニ作用を有する薬剤で、いまのところキク・バラなど非食用作物にしか試験は行っていない。

が、十分な効果が認められている。SI-0404 顆粒水和剤・SI-0405 粒剤（三共アグロ）は、浸透移行性を有する同一の新規有効成分を含む薬剤で、アブラムシ類・アザミウマ類に高い防除効果が認められ、今後の開発が期待される。

昨年度から試験中の、NC-512 フロアブルは、ハダニに対して高い効果を示し、なし・りんご・かんきつなどで実用性ありの判定を受けた。同じく、DKI-0001 フロアブルは、昨年度は野菜類の鱗翅目害虫だけを対象としていたが、本年度は果樹類の鱗翅目害虫・野菜類のハモグリバエ類を対象に広げ、いずれも高い効果を示していた。

III その他注目された事項

1 生物農薬

殺菌剤分野では 17 剤について延べ 94 件が試験された。これは昨年よりかなりの件数減少であるが、薬剤数は 2 剤の増加であった。そのうち新規製剤は 6 剤であり、対象は野菜の土壌病害から稲の苗箱での病害まで多岐にわたった（表-3）。いずれの薬剤も年数、例数ともに十分ではなく、継続の判定ではあったが、おおむね実用的な防除効果が得られており、来年以降期待される。

なお、本年度は、丸和バイオケミカルのバイオワーカー水和剤（バチルス ズブチリス）が野菜類のうどんこ病に散布で新規登録された。

殺虫剤分野では 24 剤について延べ 92 件が試験された。これまで害虫防除の生物農薬といえば、天敵昆虫・ダニ製剤と糸状菌製剤が主だったが、本年度は、IG-104 水和剤・NR-17 液剤・NK-103 といった核多角体病ウイルス製剤の試験が、ハスモンヨトウやオオタバコガを対象に多数実施された。ウイルス製剤は、その特性から殺虫剤や殺菌剤の影響を受けにくいと考えられ、従来生物農薬の導入が困難だった防除場面にも使用が期待される。

新規製剤は 6 剤で、天敵昆虫・ダニ製剤は、ALE-041（アリストライフサイエンス）、CAS-011（キャツツ アグリシステムズ）、ヨーロッパトビチビアメバチ（（社）日本養蜂はちみつ協会）の 3 剤。微生物製剤は、IG-104 水和剤（揖斐川工業）、NR-17 液剤（日本曹達）、S-1276 フロアブル（住友化学）の 3 剤であった（表-3）。

なお、本年度新規登録された生物農薬は、トスパック（タイリクヒメハナカメムシ）、ハマキ天敵（チャハマキ顆粒病ウイルス・リンゴコカクモンハマキ顆粒病ウイルス）、アリガタ（アリガタシマアザミウマ）の 3 剤であ

った。

2 嵐箱粒剤の新しい試み

嵐箱粒剤はオリサストロビン 1 成分で、稲の主要病害いもち病、紋枯病を同時に防除でき、なおかつ、薬害の懸念が少ないとから、使用時期の拡大が図られており、現在、播種時処理から移植当日まで、いもち病、紋枯病に対して実用性ありと判定されている。本成分はいもち病、紋枯病以外の広範囲の糸状菌病害に効果が認められることから、播種時の処理においては育苗箱中で発生す

表-3 平成 16 年度に新たに依頼のあった生物農薬

薬剤名 (病害防除)	成 分 名	対象病害虫名
CGC2006 水和剤	細菌 2×10^{10} cfu/g	はくさい・キャベツ：根こぶ病
IK-15000	新規糸状菌胞子 1×10^8 cfu/g 以上	いちご：うどんこ病
IK-200 乳剤	新規糸状菌胞子 1×10^9 cfu/g 以上	いちご：うどんこ病
KNB-L422 液剤	糸状菌胞子 1×10^8 cfu/ml 以上	稻：苗立枯病（リゾープス、トリコデルマ），いもち病、ばか苗病
KNB-S422 培土	糸状菌胞子 1×10^5 cfu/g 以上	稻：苗立枯病（リゾープス、トリコデルマ），いもち病、ばか苗病
NR-20 水和剤	<i>Bacillus</i> sp.	なす・トマト・いちご：灰色かび病
（害虫防除）		
ALE-041	<i>Eretmocerus mundus</i> 50 頭/カード	トマト：シルバーリーフコナジラミ
CAS-011	<i>Amblyseius barkeri</i>	なす：ハダニ類
IG-104 水和剤	ハスモンヨトウ核多角体病ウイルス 罹病老熟幼虫 100 頭分/100 g	だいず：ハスモンヨトウ
NR-17	核多角体病ウイルス	トマト・レタス：オオタバコガ
S-1276 フロアブル	昆虫病原性糸状菌 分生子 5×10^8 cell/g	トマト：コナジラミ類
ヨーロッパトビチビアメバチ	ヨーロッパトビチビアメバチ 繭 10,000 頭/地域/年	アルファルファ・レンゲ：アルファルファタコゾウムシ

表-4 平成16年度に実施された特別連絡試験

特別連絡試験名	作物・病害虫	目的
パワーリードスピノ箱粒剤	稲：いもち病	本剤はいもち病防除剤として定評のあるトリシクラゾールに徐放性能を付与した箱粒剤で、従来のトリシクラゾール箱粒剤と比較することにより効果の持続性を検討し、普及性を明らかにする。
KIF-23水和剤	稲：各種病害の種子消毒	本剤は銀を主成分とする稻用種子消毒剤で、各種病害に対する防除効果・薬害を検討する。
プラシンフロアブル	稲：いもち病	プラシンフロアブル剤を供試薬剤とし、穂いもちの最適防除時期および防除が有効と判断される適期幅を検討し、穂いもち防除における指針を探る。
ナリアWDG	りんご：総合防除	本剤は様々な病害に幅広く効果を有し、かつ効果が長く持続することが期待されており、これらの特長がりんごの病害防除の強化、省力化につながることを検証する。
野菜・花き等種子消毒剤特別連絡試験	各種野菜・花き：種子伝染性病害、土壌病害	野菜・花き等における種子消毒農薬の登録促進を図る。
コンフューザーV	露地作物：鱗翅目害虫	各種鱗翅目害虫を一挙に交信かく乱でき、本年度農薬登録を取得した本剤について、大規模な圃場試験によって、普及性を検討する。
飼料作物農薬	飼料作物：各種害虫	飼料作物に使用する農薬の登録促進を図る。

る病害を対象に防除試験が平成16年度から試みられている。これらごま葉枯病、苗立枯病（リゾープス菌）等は一般的には、種子消毒等で防除されると認識されていた病害であるが、本剤が播種時に処理できること、広範囲の糸状菌病害を防除できることにより、育苗箱中での新しい病害防除法の可能性が示唆された。実用性の判定は来年以降に持ち越されたが、今後が注目される。本剤のこの方法が直ちに種子消毒の代替えになるとは思われないが、防除体系において種子消毒剤との連携をあらためて考える一つの材料になるであろう。

3 内穎褐変病について

稲の内穎褐変病は近年問題となりつつある病害であるため、登録薬剤の拡充が望まれており、昨年から多数の薬剤が試験されている。今年度、表-8（41ページ）のように5剤が効果が確認され実用性ありと判定されたので紹介する。HM-2022粉剤DL、カスラブトレボン粉剤3DLはカスガマイシンを含む製剤、ハスラー粉剤DLはプラシンを含む製剤でこれらの成分を含む他剤が既に内穎褐変病に登録がある。またKUF-1402粉剤DL、ラテラトレボン粉剤DLはイミノクタジン酢酸塩を含む製剤で、本成分は内穎褐変病に対しては初めて試験され、効果が認められた。

このほか、ブイゲット粒剤、ブイゲットアドマイヤー粒剤、ブイゲットプリンス粒剤10、Dr.オリゼプリンス粒剤10が試験されており、判定は来年以降に持ち越さ

れた。

4 特別連絡試験の紹介

当協会では、普及場面での使用方法や体系防除における位置づけ、また防除効果についても集中的に検討する必要があると考えられる農業資材等に対して特別連絡試験を行っており、今回7課題が組まれた（表-4）ことから一部を紹介する。

KIF-23水和剤：本剤は銀を主成分とする稻用種子消毒剤である。銀を主成分とする製剤にはオクトクロスが野菜類の根腐病に水耕栽培養液槽浸漬が既登録であるが、種子消毒剤としては初めての試みとなる。本剤は平成14年度からばか苗病を中心に新農薬実用化試験において試験実施され、今回特別連絡試験においてばか苗病、いもち病、ごま葉枯病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病に対する薬効薬害試験が実施された。その結果、実用上ほとんど問題はないが根上りなどの現象が発生することに対する宿題は残したもの、いずれにも400～600倍液24時間浸種前浸漬、0.5%湿粉衣の高い防除効果が確かめられた。本成分は食器等に使用される安全性に問題のない金属であり、1成分でほとんどの種子病害に効果があるほか、イネシンガレセンチュウにも有効（新農薬実用化試験（稻野菜等）で試験中）であることを考えれば極めて有用な資材であるといえる。

プラシンフロアブル剤：現在の穂いもちの標準的な防除体系となっているのは「出穂直前・穂揃期の2回散布」

表-5 平成 16 年度に生産量が少ない作物（食用）に対して実用性ありと判定された薬剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
えんどう まめ	アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	オクラ	ワタアブラムシ	ダントツ水溶剤
	ハト	キヒゲン R-2 フロアブル		苗立枯病	ソイリーン
	ネキリムシ類	ガードベイト A		うどんこ病	アミスター 20 フロアブル
そらまめ	アブラムシ類	MTI-446 水溶剤（顆粒）、 アクタラ顆粒水溶剤	みょうが	根茎腐敗病	アミスター オプティフロアブル
	ネキリムシ類	ガードベイト A		すもも	MTI-446 水溶剤（顆粒）
	ハモグリバエ類	トリガード液剤		ナミハダニ	ダニサラバフロアブル
しろうり	ワタアブラムシ	サンヨール	あんず	アブラムシ類	ダントツ水溶剤
	ハダニ類	サンヨール		ウメシロカイガラムシ	アプロードフロアブル、ス プレーオイル
	うどんこ病	パンチョ TF 顆粒水和剤、 サンヨール		アザミウマ類	オルトラン水和剤、ダント ツ水溶剤
にがうり	うどんこ病	パンチョ TF 顆粒水和剤、 サンヨール	いちじく	疫病	フェスティバル C 水和剤
のざわな	アブラムシ類	ランネット 45DF, SYJ- 102 粒剤		クリシギゾウムシ	TMZ-9911 液剤
なばな	ネキリムシ類	ガードベイト A		クリミガ	TMZ-9911 液剤
とうな	根こぶ病	ネビジン粉剤	とうとう	オウトウショウジョウバエ	ロディー WDG, モスピラ ン水溶剤
にんにく	ネギコガ	ジェイエース水溶剤、フロ ーバック DF		ナミハダニ	AKD-1102 顆粒水和剤、 BCI-033 フロアブル、オ オナタフロアブル、NC- 512 フロアブル
	葉枯病	ベルクートフロアブル		灰星病	サンリット DF, ダイパワ ー水和剤、インプレッシュ ン水和剤
らっきょう	白色疫病	フォリオブラボ顆粒水和剤	黒斑病	黒斑病	ナリア DF
アスパラ ガス	ネギアザミウマ	オンコル顆粒水和剤		傷口ゆ合促進	バッチレート
	ジュウシホシクビナガハムシ	MTI-446 水溶剤（顆粒）		炭疽病	プリントフロアブル 25
	斑点病	ベンコゼブ水和剤	幼果菌核病	幼果菌核病	MTF-753 フロアブル 15
パセリ	葉枯病	ベンコゼブ水和剤		マンゴー	アザミウマ類
	ニンジンアブラムシ	ランネット 45DF			ダントツ水溶剤
みつば	ヨトウムシ	ランネット 45DF			
	ワタアブラムシ	ダントツ水溶剤			
	ハダニ類	カダンセーフ			

であるが、プラシンフロアブル剤を供試することにより、出穂期前後の 1 回散布による穂いもちの最適防除時期およびその適期幅を検討した。長期間効果の持続する箱処理剤をテーマとしていもち病の防除体系のあり方を検討する特別連絡試験は過去に多く扱ってきたが、本田散布剤を中心に据えて防除適期を検討した特別連絡試験はあまりなかった。近年、長期間効果の持続する箱粒剤が普及したため、その後の本田防除のあり方をあらためて検討する必要性があったことがこの検討会が組まれた背景

となった。検討の結果、プラシンフロアブルにおいてはおむね極端な激発条件でなければ、出穂期直前から穂揃期までの比較的幅広い期間中 1 回散布で従来の出穂直前・穂揃期の 2 回散布とほぼ同等の防除効果が得られることがわかった。

コンフューザー V：本剤は数種の性フェロモンを混合し、コナガ・オオタバコガをはじめ、畑作野菜で問題となる各種鱗翅目害虫を一度に交信かく乱・防除する資材で、平成 16 年 9 月 1 日付けで農薬登録を取得した。

表-6 近年問題視されるウイルス媒介害虫とその害虫に効果が見られる新規薬剤

病害虫名	媒介ウイルス	薬剤名	成分名・量
シルバーリーフコナジラミ	TYLCV, TLCV	BCI-033 (0161) フロアブル SI-0009 乳剤 コルト (NNI-0101) 顆粒水和剤	新規化合物 24% レピメクチン 1% 新規化合物 20%
ネギアザミウマ	IYSV	コルト (NNI-0101) 顆粒水和剤 ウララ DF プレオフロアブル	新規化合物 20% フロニカミド 10% ピリダリル 10%
ミカンキイロアザミウマ	TSWV, INSV	IKI-220 粒剤 SI-0009 乳剤 SI-0405 粒剤	フロニカミド 1% レピメクチン 1% 新規化合物 1%
ミナミキイロアザミウマ	MYSV	SI-0405 粒剤 プレオフロアブル	新規化合物 1% ピリダリル 10%

表-7 最近名称に変更のあった主な薬剤

旧薬剤名	変更後名称	成分名・量
(殺菌剤) AVF-002 フロアブル BJL-001WDG SB-3621 フロアブル YE-621 液剤	リライアブルフロアブル ナリア WDG ドーシャスフロアブル エコピタ液剤	フルオピコリド 62.5 g/l, プロパモカルブ塩酸塩 625 g/l ピラクロストロビン 6.8%, ボスカリド 13.6% TPN 40.0% (w/w), シアゾファミド 3.2% (w/w) 還元澱粉糖化物 60.0%
(殺虫剤) AKD-3088 粒剤 1.5 NNI-0001 顆粒水和剤 NNI-0101 顆粒水和剤 NNI-0250 フロアブル SYJ-101 顆粒水和剤	ネマキック粒剤 フェニックス顆粒水和剤 コルト顆粒水和剤 アクセルフロアブル リーズン顆粒水和剤	イミシアホス (ISO 申請中) 新規化合物 20.0% 新規化合物 20.0% 新規化合物 25.0% チアメトキサム 10.0%, ルフェヌロン 5.0%

本年の試験では、既に登録を取得した 100 本/10 a 处理に加え、設置量を増やした 200 本/10 a 处理についても、十分な実用性があることを確認した。

飼料作物農薬：飼料作物に対する農薬登録は、市場規模が小さいため企業側から見ると優先順位が低く、これまであまり行われていなかったが、(社)日本草地畜産種子協会が主体となって、農薬登録にむけた取り組みがスタートした。イネ科・マメ科などの飼料作物に、本年度から 2 年で 6 薬剤の農薬登録を目指す。

5 マイナー作物に対する試験実施

マイナー作物に対する登録促進は、その重要性と緊急性から、国・都道府県・農薬メーカーをはじめ、多くの関係者によって積極的な取り組みが進められている。そうした中、日本植物防疫協会では、マイナー作物等登録推進中央協議会の事務局を担当するほか、本年度は、都道府県から登録要望のあるマイナー作物・農薬に対し農薬メーカーが依頼する試験について、その試験費を減額する措置を行った。この措置が適用された試験を含め、

本年度は、生産量が少ない食用作物に対し、20 作物・殺菌剤 17 剤・殺虫剤 24 剤について、実用性ありの判定が出された(表-5)。この試験費軽減措置は平成 17 年度も継続する予定である。各都道府県試験機関と農薬メーカーの皆様には、試験の推進について、今後ともご協力を賜りたい。

6 ウィルス媒介が問題となる害虫に効果が期待される新規薬剤

ここ 1~2 年、害虫が媒介するウイルス病について、特殊報・警報が多数発表されるなど、各地で問題になっている。代表的なものとしては、シルバーリーフコナジラミに媒介されるトマト黄化葉巻病 (TYLCV : トマト中心), ミカンキイロアザミウマに媒介されるトマト黄化えそ病 (TSWV : ナス科・キク中心), ミナミキイロアザミウマに媒介されるメロン黄化えそ病 (MYSV : ウリ科中心) が挙げられる。

ウイルス病の防止には、感染源を除去し、媒介昆虫を徹底的に防除することが不可欠である。幸い、上記媒介

昆虫に対し、高い効果を示す薬剤がすでに登録され、現場で使用されているが、薬剤感受性低下を回避する点から、さらに多くの薬剤が要望されている。

近年、農薬登録に向けて開発が進められる薬剤のうち、上記のような媒介昆虫に高い効果が認められ、既存薬剤と作用性が異なる新規薬剤は表-6 のようになっている。いずれの薬剤も高い効果が認められており、今後の開発に期待したい。

IV 最近名称に変更があった薬剤

多くの薬剤は、初めて委託に出されるときにはコード番号などを薬剤名として使用しているが、登録に伴って商品名が命名される。また、商品名が付けられる前に何らかの事情で名称変更されることもあり、過去の試験と比較するとき、戸惑うこともある。そこで、最近名称に変更があった薬剤の一覧表を作成した（表-7）。比較検討時の参考になれば幸甚である。

表-8 平成 16 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤・拔粋（病害防除：稻・麦）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稻	いもち病	HM-2034 フロアブル, HM-2035 フロアブル, MMH-2031 粒剤, NHF-401 粒剤, NNIF-0437 粒剤, NNIF-0451 粒剤, SST-401 箱粒剤, ノンプラスダントツ H 粉剤 DL, ピームダンツ H 粉剤 DL, 嵐プリンス箱粒剤 10, 嵐プリンス箱粒剤 6, 嵩箱粒剤	稻	内穎褐変病	HM-2022 粉剤 DL, KUF-1402 粉剤 DL, カスラブトレボン粉剤 3DL, ハスラー粉剤 DL, ラテラトレボン粉剤 DL
	いもち病（穗）	BYM-0411 粒剤		苗立枯病（フザリウム菌）	SF-0305 粉剤
	紋枯病	オリブライト 250G, 嵩プリンス箱粒剤 10, 嵩プリンス箱粒剤 6, 嵩箱粒剤		苗立枯病（リゾーブス菌）	HOF-2041 粉剤
	穂枯れ（ごま葉枯病菌）	ブイゲット粒剤, 嵩粒剤		褐条病	HOF-2041 粉剤
	変色米（アルタナリア菌）	アミスターアチーブトレボン粉剤 DL		もみ枯細菌病（種子消毒）	HOF-2041 粉剤
	変色米（カーブラリア菌）	KUF-1402 粉剤 DL, アミスターアチーブトレボン粉剤 DL		苗立枯細菌病（種子消毒）	HOF-2041 粉剤
	もみ枯細菌病	Dr. オリゼスタークル箱粒剤, Dr. オリゼプリンス粒剤 6, HM-2022 粉剤 DL, ブイゲットグランドオンコル粒剤, ブイゲット箱粒剤		いもち病（苗いもち）	HOF-2041 粉剤, ベンレート水和剤
	白葉枯病	Dr. オリゼプリンス粒剤 10, オリブライト 1 キロ粒剤, ブイゲット箱粒剤	小麦	赤かび病	トップジン M DL 粉剤, トップジン M ゾル, フロンサイド水和剤
大麦			大麦	網斑病（種子消毒）	キヒゲン R-2 フロアブル

平成 16 年度に依頼された 54 薬剤について 299 試験が実施され、過去未了分の試験結果を併せ延べ 46 の対象について実用性ありと判定された。オリサストロビンを含有する混合製剤（嵐プリンス～）はいもち病、紋枯病について覆土混和処理が追加されることとなる。また HOF-2401 粉剤はカスガマイシンと TPN の混合剤で、覆土 1 l に対し本剤 5 g を混和処理する。HM-2034 フロアブル、HM-2035 フロアブルはいずれもブームスプレーヤ散布で実用性ありと判定された。

表-9 平成 16 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤・拔粋（病害防除：野菜・花き）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ばれいしょ	疫病	NC-224 フロアブル 20, SCF-001SC, SYJ-446SC, TMF-9831 顆粒水和剤, ジマンダイセン水和剤, フロンサイド水和剤, ランマンフロアブル	だいず	べと病	NC-224 フロアブル 20, アミスター 20 フロアブル, フェスティバル M 水和剤
	そうか病	アグレプト液剤		腐敗粒	ベルクートフロアブル
				紫斑病	マネージ DF

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
あずき	褐斑細菌病	ドイツボルドーDF	きゅうり	灰色かび病	DKF-202 顆粒水和剤, ポリオキシン 顆粒水和剤
	灰色かび病	MTF-753 フロアブル		褐斑病	DKF-202 顆粒水和剤, ブリザード水 和剤
	茎疫病	NC-224 フロアブル 20, SYJ-446SC, カーゼット PZ 水和剤		菌核病	トータレックス顆粒水和剤
	炭疽病	KUF-1204 顆粒水和剤		苗立枯病(リゾ クトニア菌)	モンカットフロアブル 40
いんげん	菌核病	KUF-1204 顆粒水和剤	うどんこ病	うどんこ病	NGF-021 液剤, アカリタッチ乳剤, スコア顆粒水和剤, ハチハチフロアブル, ポリオキシン顆粒水和剤
	炭疽病	KUF-1204 顆粒水和剤, ブロードワ ン顆粒水和剤		えそ斑点病	TMZ-9911 液剤
さやえん どう	灰色かび病	アミスター 20 フロアブル, セイビア ーフロアブル 20		べと病	NC-224 フロアブル 20, アデール顆 粒水和剤
	うどんこ病	パンチョ TF 顆粒水和剤		菌核病	カンタスドライフロアブル
てんさい	葉腐病	S-2727 顆粒水和剤, フリントフロア ブル 25		つる割病	ソイリーン
	褐斑病	KUF-1502 乳剤, カスミンボルドー		うどんこ病	フォリオブラボ顆粒水和剤
	苗立枯病(リゾ クトニア菌)	TMF-9831 顆粒水和剤	すいか	褐色腐敗病	フェスティバル C 水和剤
	根腐病	S-2727 顆粒水和剤		菌核病	カンタスドライフロアブル
なす	灰色かび病	DKF-202 顆粒水和剤		炭疽病	テーク水和剤
	褐色腐敗病	フォリオブラボ顆粒水和剤		つる枯病	ベルクートフロアブル
	菌核病	MTF-753 フロアブル	かばちゃ	べと病	アミスター オプティフロアブル, フォ リオブラボ顆粒水和剤
	苗立枯病(リゾ クトニア菌)	モンカットフロアブル 40		うどんこ病	MTF-753 フロアブル
	すすかび病	DKF-202 顆粒水和剤, ブリザード水 和剤	しろうり	うどんこ病	サンヨール, パンチョ TF 顆粒水和剤
	うどんこ病	サンクリスタル乳剤		うどんこ病	サンヨール, パンチョ TF 顆粒水和剤
トマト	青枯病	TMZ-9911 液剤, ソイリーン	だいこん	軟腐病	バリダシン液剤 5
	疫病	NC-224 フロアブル 20, アデール顆 粒水和剤		白さび病	アミスター オプティフロアブル, フォ リオブラボ顆粒水和剤, ランマンフロ アブル
	灰色かび病	DKF-202 顆粒水和剤		ワッカ症	フォリオブラボ顆粒水和剤
	葉かび病	DKF-202 顆粒水和剤, スコア顆粒水 和剤, ブリザード水和剤, ポリオキシ ン顆粒水和剤, ルミライト水和剤	かぶ	白さび病	ランマンフロアブル
	苗立枯病(リゾ クトニア菌)	モンカットフロアブル 40		軟腐病	NIMF-2002 粒剤
ピーマン	青枯病	ダブルストッパー	はくさい	べと病	フェスティバル水和剤, フォリオブラ ボ顆粒水和剤, ベンコゼブ水和剤, ホ ライズンドライフロアブル
	灰色かび病	MTF-753 フロアブル		白斑病	アミスター オプティフロアブル
	苗立枯病(リゾ クトニア菌)	モンカットフロアブル 40		黒斑病	アミスター オプティフロアブル, ベン コゼブ水和剤
きゅうり	斑点細菌病	TGG-9 (粒剤), ジャッジ箱粒剤	ピシウム腐敗病	ピシウム腐敗病	フォリオブラボ顆粒水和剤
	べと病	NC-224 フロアブル 20		根こぶ病	ネビジン顆粒水和剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
はくさい	白さび病	ドーシャスフロアブル, フォリオブラボ顆粒水和剤	アスパラガス	斑点病	ベンコゼブ水和剤
				茎枯病	ベンコゼブ水和剤
キャベツ	べと病	フェスティバル C 水和剤	レタス	ビッグベイン病	サンメポン
	株腐病	セイビアーフロアブル 20		べと病	フォリオブラボ顆粒水和剤
	菌核病	MTF-753 フロアブル		菌核病	ブロードワン顆粒水和剤
	黒すす病	ポリオキシン AL 水溶剤		すそ枯病	ドーシャスフロアブル
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	ソイリーン		にんじん	しみ腐病
とうな	バーティシリウム萎凋病	ディ・トラベックス油剤	セルリー	萎黄病	ソイリーン
	根こぶ病	ネビジン粉剤		ほうれんそう	NC-224 フロアブル 20, フェスティバル C 水和剤
いちご	疫病	ランマンフロアブル	オクラ	苗立枯病(リゾクトニア菌)	ソイリーン
	灰色かび病	ポリオキシン顆粒水和剤		うどんこ病	アミスター 20 フロアブル
	萎黄病	キルバー液剤	しょうが	根茎腐敗病	ランマンフロアブル
	炭疽病	IC ボルドー 66D		みょうが	アミスター 20 フロアブル
	うどんこ病	サンリット水和剤, スコア顆粒水和剤, ポリオキシン顆粒水和剤		ばら	E-209 スプレー, GL-36(スプレー)
ねぎ	軟腐病	バリダシン液剤 5	うどんこ病	黒星病	GL-36(スプレー), TGG-9(粒剤), 硫黄粒剤
	べと病	ランマンフロアブル		青枯病	クロルピクリン液剤 99.5%
	さび病	アミスター オプティフロアブル		カーネーション	TMZ-9911 液剤
	白絹病	リンバー粒剤		トルコギキョウ	
たまねぎ	べと病	アミスター オプティフロアブル	ガーベラ	うどんこ病	GL-36(スプレー)
	白色疫病	プロボーズ顆粒水和剤		ペゴニア	うどんこ病
にら	さび病	トリフミン水和剤	バーベナ	うどんこ病	ヒットゴール AL
	白絹病	クロルピクリン錠剤		まさき	GL-36(スプレー)
にんにく	葉枯病	ベルクートフロアブル	まさき	うどんこ病	パンチョ TF 顆粒水和剤
らつきょう	白色疫病	フォリオブラボ顆粒水和剤		さるすべり	うどんこ病
平成 16 年度依頼された 101 薬剤 864 試験が実施され、過去試験結果と併せ延べ 151 の対象について実用性ありと判定された。開発が進む新規化合物のべと病・疫病専用剤では、NC-224 フロアブル 20, SYJ-446SC(いずれも成分名は未公開)が本年度初めて実用性ありの判定を受けた。これらは多くの対象に試験継続されており、今後の展開が期待される。ばらのうどんこ病で実用性ありとなった硫黄粒剤は、専用の電気加熱式くん煙器により 1 日 4 時間程度の処理を行う。					

表-10 平成 16 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤・拔粋(病害防除: 果樹・茶・芝草)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	赤星病	MTF-753 フロアブル 15	なし	輪紋病	NF-156 フロアブル, ダイパワー水和剤
	黒斑病	アミスター 10 フロアブル, チオノックフロアブル		うどんこ病	MTF-753 フロアブル 15, ベルクートフロアブル
	黒星病	MTF-753 フロアブル 15, アミスター 10 フロアブル, オンリーワンフロアブル		もも	灰星病
					MTF-753 フロアブル 15, ナリア DF, フリントフロアブル 25

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
もも	縮葉病(休眠期)	デランフロアブル	とうとう	灰星病	インプレッション水和剤, サンリット DF, ダイパワー水和剤
うめ	かいよう病	バリダシン液剤5		黒斑病	ナリアDF
	黒星病	ベルクートフロアブル		炭疽病	フリントフロアブル25
	すす斑症	ベルクートフロアブル		幼果菌核病	MTF-753 フロアブル15
ぶどう	べと病	IKF-91625SC, NC-224 フロアブル20	かんきつ	傷口ゆ合促進	バッチレート
	灰色かび病	KUF-1204 顆粒水和剤		かいよう病	NF-155 フロアブル
	晩腐病	IC ボルドー66D, アミスター10 フロアブル, オンリーワンフロアブル, ベンコゼブ水和剤		灰色かび病	KUF-1204 顆粒水和剤, MTF-753 フロアブル15
	晩腐病(休眠期)	ビオネクト		そうか病	ジマンダイセンDF, ベルクートフロアブル
	さび病	NF-155 フロアブル, マネージDF	茶	網もち病	オンリーワンフロアブル, スコア顆粒水和剤
かき	落葉病	MCF-23WG75, ナリアDF		褐色円星病	ダコニール顆粒水和剤
	炭疽病	オンリーワンフロアブル, ナリアDF		輪斑病	ベルクートフロアブル
	うどんこ病	スコア顆粒水和剤	芝	ダラースポット病	GG-215 水和剤, HOF-2037DF, MTF-753 顆粒水和剤, SYJ-119SC, SYJ-120SC, ベンレート水和剤
いちじく	疫病	フェスティバルC 水和剤		疑似葉腐病(春はげ症)	SYJ-120SC, クルセイダーフロアブル
りんご	赤星病	MTF-753 フロアブル15		カーブラリア葉枯病	クルセイダーフロアブル, バナーマックス液剤
	斑点落葉病	ALF-021 顆粒水和剤, NF-156 フロアブル		葉腐病(ブラウンパッチ)	MTF-753 顆粒水和剤, SYJ-120SC, ベンレート水和剤
	褐斑病	IC ボルドー412, チオノックフロアブル, ベルクートフロアブル, ラビライト水和剤		葉腐病(ラージパッチ)	MTF-753 顆粒水和剤, パッチコロン水和剤, ヘリテージ顆粒水和剤
	黒点病	MCF-23WG75, ジマンダイセンDF, チオノックフロアブル		紅色雪腐病	SYJ-119SC
	黒星病	MCF-23WG75, MTF-753 フロアブル15		立枯病(ゾイシアデクライン)	クルセイダーフロアブル
	モニリア病(予防効果)	MTF-753 フロアブル15		炭疽病	GG-215 水和剤, SYJ-119SC, グリーンエイト顆粒水和剤, パッチコロン水和剤, ベンレート水和剤
	モニリア病(治療効果)	MTF-753 フロアブル15, スコア顆粒水和剤	芝(コウライシバ)	葉枯病	BAG-034WDG
	紫紋羽病	フロンサイドSC		ダラースポット病	BAG-034WDG
	輪紋病	アントラコール顆粒水和剤, トップジョンM 水和剤, ナリアDF		炭疽病	タフシーバフロアブル
	すす点・すす斑病	ベルクートフロアブル			
	炭疽病	ジマンダイセンDF, ベンコゼブ水和剤			
	うどんこ病	MTF-753 フロアブル15, パンチョTF 顆粒水和剤			

平成16年度依頼された試験は、落葉果樹について39薬剤244試験、寒冷地果樹(りんご・とうとう)では21薬剤150試験、常緑果樹では7薬剤41試験が実施された。また茶では7薬剤32試験、芝は20薬剤163試験が実施された。茶の試験数はおよそ半分となつたが、そのほかの区分は昨年とほぼ同程度であった。本年度より「生物農薬」の区分では稲麦関係および野菜関係のみを評価し、果樹等はそれぞれ樹種ごとの区分で評価することとなり、インプレッション水和剤のおとう灰星病は寒冷地果樹検討会の中で評価され実用性ありとなった。MTF-753(ベンチオピラード)は野菜、果樹で広く試験され本年度は芝の3病害で実用性ありと判定された。

表-11 平成 16 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤・拔粋（病害防除：生物農薬）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稻	苗立枯病（リゾーブス菌）	KUF-1203 水和剤、エコホープ	なす トマト ピーマン キャベツ いちご	青枯病	セル苗元気
	もみ枯細菌病（種子消毒）	KUF-1203 水和剤		灰色かび病	KUF-1401 顆粒水和剤
	苗立枯細菌病（種子消毒）	KUF-1203 水和剤		葉かび病	インプレッション水和剤
	いもち病（種子消毒）	KUF-1203 水和剤、エコホープ		青枯病	セル苗元気
	ごま葉枯病（種子消毒）	エコホープ		うどんこ病	IK-4501 水和剤
	ばか苗病（種子消毒）	KUF-1203 水和剤		黒腐病	CGC7090 水和剤
				菌核病	IPB-001
				うどんこ病	IK-4501 水和剤

17 薬剤について延べ 104 試験が実施された。試験件数は減少したものの、新規製剤も多く来年以降の判定が待たれる。稻種子消毒剤エコホープの剤型変更として試験された KUF-1203 水和剤はばか苗病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病について昨年 11 月に登録された（商品名：エコホープドライ）。なす・ピーマン青枯病のセル苗元気は現場での作業実態を加味し、本剤の懸濁液浸漬および培土使用の併用処理に対して実用性ありと判定され、発病遅延効果が期待できる。キャベツ菌核病の IPB-001 は定植前灌注処理で、総合防除を考慮する必要性がコメントとして付記された。

表-12 平成 16 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤・拔粋（害虫防除：稻・麦）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稻	ウンカ類	MMH-2031 粒剤*4, MTI-446 液剤*8, MTI-446 粒剤 2*2, NNIF-0451 粒剤*4, ビームダントツ H 粉剤 DL*7, 側条オリゼメートスタークル 頸粒水和剤*6, 嵐プリンス箱粒剤 10*1, 嵐プリンス箱粒剤 6*1	稻 コブノメイガ イネツトムシ フタオビコヤガ イネドロオイムシ イネミズゾウムシ イネヒメハモグリバエ イネシンガレセンチュウ	コブノメイガ	NNIF-0451 粒剤*4, カスラブトレボン粉剤 3DL*7, ノンプラストレバリダ粉剤 DL*7, 嵐プリンス箱粒剤 10*1, 嵌プリンス箱粒剤 10*2
	ヒメトイビウンカ	ブイゲットグランドオンコル粒剤*4		イネツトムシ	ダントツ H 粉剤 DL*7, 嵌プリンス箱粒剤 10*1, 嵌プリンス箱粒剤 6*1
	ツマグロヨコバイ	KUM-034 ゾル*7, MMH-2031 粒剤*3, MTI-446 液剤*8, NNIF-0451 粒剤*4, ビームダントツ H 粉剤 DL*7		フタオビコヤガ	MTI-446 粒剤 2*4, ダントツ箱粒剤*4, ビームアドマイヤースビノ箱粒剤*4, ブラシンドントツ粉剤 DL*7
	カメムシ類	AVI-708 粉剤 DL*7, MTI-446 液剤*8, NNIF-0437 粒剤*9, キラップ フロアブル*8, ダントツ水溶剤*7, ノンプラスダントツ H 粉剤 DL*7, ビームダントツ H 粉剤 DL*7		イネドロオイムシ	MH-1002 粒剤*4, MMH-2031 粒剤*4, MTI-446 水溶剤（顆粒）*5, NNIF-0451 粒剤*4, SST-401 箱粒剤*4, TM-1524 粒剤*4, アドマイヤー顆粒水和剤*5, ダントツ水溶剤*5, 嵌プリンス箱粒剤 10*1, 嵌プリンス箱粒剤 6*1, 嵌プリンス箱粒剤 6*2
	イネクロカメムシ	Dr. オリゼスタークル箱粒剤*4, デジタルコラトップアクタラ箱粒剤*4		イネミズゾウムシ	KUM-033 粒剤*4, NNIF-0451 粒剤*4, SST-401 箱粒剤*4, TM-1524 粒剤*4, アドマイヤー顆粒水和剤*5, ダントツ水溶剤*5, 嵌プリンス箱粒剤 10*1, 嵌プリンス箱粒剤 10*2, 嵌プリンス箱粒剤 6*1
	イナゴ類	AVI-708 粉剤 DL*7, NNIF-0451 粒剤*4, ダントツフロアブル*7, 嵌プリンス箱粒剤 10*1, 嵌プリンス箱粒剤 10*2, 嵌プリンス箱粒剤 6*1, 嵌プリンス箱粒剤 6*2		イネヒメハモグリバエ	ブイゲットアドマイヤー粒剤*4
	イネアザミウマ	ブイゲットアドマイヤー粒剤*4		イネシンガレセンチュウ	グランドオリゼメートオンコル粒剤*4
	ニカメイチュウ	NNIF-0451 粒剤*4, ビームバシボン 粉剤 5DL*7, 嵌ダントツ箱粒剤*4, 嵌プリンス箱粒剤 10*1, 嵌プリンス 箱粒剤 10*2			

*1 床土もしくは覆土混和、*2 播種時、*3 緑化期、*4 移植時、*5 灌注、*6 側条施用、*7 敷布、*8 ブームスプレーヤ散布、*9 湿水散布。

平成16年度は稻・麦用に55剤、延べ341件の試験が受託され、昨年より大幅に減少した。新規殺虫成分で初めて実用性ありの判定を受けた化合物はなかった。従来から多く実施されてきた育苗箱施用剤に加え、後期のカメムシ剤では、NNIF-0437粒剤のように、殺菌剤との混合で穂いもち病との同時防除をねらった粒剤も見受けられる。

表-13 平成16年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤・拔粋（害虫防除：野菜・花き）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ばれいしょ	アブラムシ類	ジェイエース水溶剤、ダントツ水溶剤、チエス顆粒水和剤、ネマトリンエース粒剤、ハチハチ乳剤	そらまめ	ネキリムシ類	ガードベイトA
				ハモグリバエ類	トリガード液剤
かんしょ	モモアカアブラムシ	アクタラ粒剤5	とうもろこし	アブラムシ類	ゲットアウトWDG
	コガネムシ類	アドバンテージS粒剤		ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5
	ハリガネムシ類	アドバンテージS粒剤、ラグビーMC粒剤	てんさい	モモアカアブラムシ	ダントツ水溶剤
	ネコブセンチュウ	ラグビーMC粒剤		ヨトウムシ	アクセルフロアブル、アタプロン乳剤、マブリックEW
さといも	ハダニ類	マイトコーネフロアブル		テンサイトビハムシ	プリンスフロアブル
	ネコブセンチュウ	ダブルストッパー		カメノコハムシ	カスケード乳剤、ダントツ水溶剤、バイスロイド乳剤
	ネグサレセンチュウ	DC油剤	さとうきび	カンシャノシンクイハマキ	BAI-035ベイト
やまのいも	ヤマノイモコガ	オルトラン水和剤		メイチュウ類	トクチオン細粒剤F
だいす	アブラムシ類	オルトラン水和剤、オンダイエース粒剤、ダントツ水溶剤		ハリガネムシ類	BAI-035ベイト、ダントツ粒剤
	カメムシ類	サンリットカルホス粉剤、ダントツH粉剤DL	なす	アブラムシ類	IKI-220粒剤、MTI-446粒剤1、YS-011ME、チエス顆粒水和剤、ハチハチフロアブル、ブルースカイ粒剤
	ネキリムシ類	ネキリトンK		コナジラミ類	ハチハチフロアブル
	ハスモンヨトウ	オルトラン粒剤		アザミウマ類	アファーム乳剤、ハチハチフロアブル
	ダイズサヤタマバエ	MTI-446水溶剤(顆粒)		ハスモンヨトウ	SI-0009乳剤、ランネット45DF
	ダイズシストセンチユウ	ラグビーMC粒剤		ハモグリバエ類	SI-0009乳剤、ハチハチフロアブル、ダントツ水溶剤
あずき	アブラムシ類	スミチオン乳剤、ペイオフME液剤		ハダニ類	AKD-1102顆粒水和剤
	ノメイガ類	トレボン乳剤		チャノホコリダニ	ハチハチフロアブル
	タネバエ	ダイアジノン粒剤5		ネコブセンチュウ	ネマキック粒剤
	ダイズシストセンチユウ	バイデートL粒剤	トマト	アブラムシ類	E-208スプレー、カダンセーフ、ハチハチフロアブル、モスピランSL液剤
いんげんまめ	アブラムシ類	ゲットアウトWDG		コナジラミ類	GL-34(スプレー)、MTI-446水溶剤(顆粒)、SI-0009乳剤、TGA-66(エアゾル)、ダントツ粒剤
	タネバエ	ダイアジノン粒剤5		ミカンキイロアザミウマ	SI-0009乳剤、カウンター乳剤、ハチハチフロアブル
えんどうまめ	アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤		ハスモンヨトウ	プレオフロアブル
	ネキリムシ類	ガードベイトA			
	ハト	キヒゲンR-2フロアブル			
そらまめ	アブラムシ類	MTI-446水溶剤(顆粒)、アクタラ顆粒水溶剤			

作物名	病害虫名	葉剤名	作物名	病害虫名	葉剤名
トマト	オオタバコガ	チューンアップ顆粒水和剤	かばちゃ	アブラムシ類	ダントツ水溶剤, モスピラン水溶剤, モスピラン粒剤, ランネット45DF
	ハモグリバエ類	SI-0009乳剤, プレオフロアブル		ハダニ類	ニッソラン水和剤
	トマトサビダニ	アプロードエースフロアブル, ハチハチフロアブル		ネコブセンチュウ	ソイリーン
	ネコブセンチュウ	クロピクフロー, ネマキック粒剤	だいこん	アブラムシ類	アクタラ粒剤5, アクタラ顆粒水溶剤, トレボンMC
ピーマン	アブラムシ類	MTI-446粒剤1, モスピラン水溶剤		コナガ	SI-0009乳剤
	コナジラミ類	ダントツ水溶剤		ハイマダラノメイガ	SI-0009乳剤, カスケード乳剤
	アザミウマ類	ハチハチ乳剤, アクタラ粒剤5		アオムシ	SI-0009乳剤
	オオタバコガ	カウンター乳剤		ヨトウムシ	トレボンMC
しろうり	ワタアブラムシ	サンヨール	きゅうり	キスジノミハムシ	MTI-446粒剤1, アドバンテージS粒剤
	ハダニ類	サンヨール		ネグサレセンチュウ	ネマキック粒剤
きゅうり	アブラムシ類	MTI-446粒剤1, チエス顆粒水和剤, ハチハチフロアブル, ブルースカイ粒剤, 花のもり100		かぶ	アブラムシ類
	コナジラミ類	アドマイヤー顆粒水和剤, ハチハチフロアブル		コナガ	MTI-446水溶剤(顆粒), アクタラ粒剤5, オンコル粒剤5, ジエイエース水溶剤, ランネット45DF
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤		ハイマダラノメイガ	ジェイエース水溶剤
きゅうり	トマトハモグリバエ	MTI-446粒剤1		アオムシ	ハチハチ乳剤
	ハダニ類	サンヨール液剤AL, ハッパ乳剤, 花のもり100		ヨトウムシ	ジェイエース水溶剤, ランネット45DF
	ネコブセンチュウ	クロピクフロー		キスジノミハムシ	シエイエース水溶剤
メロン	アブラムシ類	IKI-220くん煙剤, MTI-446粒剤1, チエス顆粒水和剤	はくさい	ハスモンヨトウ	SYJ-102粒剤, オンコル粒剤5, ハチハチ乳剤
	シルバーリーフコナジラミ	バリアード顆粒水和剤		ダンゴムシ	ダントツ水溶剤
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤		コオロギ類	ダーズパンペイト
	ウリノメイガ	チューンアップ顆粒水和剤		コナガ	SI-0009乳剤, オンコルマイクロカプセル
	ハモグリバエ類	MTI-446粒剤1, SI-0009乳剤		ハイマダラノメイガ	ダントツ粒剤, モスピラン粒剤
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル		アオムシ	SI-0009乳剤, フェニックス顆粒水和剤, 花ベジタ100
	ネコブセンチュウ	クロピクフロー, ネマキック粒剤, プラズマ油剤		ヨトウムシ	コテツフロアブル, トレボンMC
すいか	アブラムシ類	チエス顆粒水和剤, MTI-446粒剤1	キャベツ	コナガ	SI-0009乳剤
	アザミウマ類	ハチハチフロアブル, ダントツ粒剤		ハイマダラノメイガ	ダントツ水溶剤, ダントツ粒剤
	ウリハムシ	ダントツ水溶剤		アオムシ	SI-0009乳剤, オンコルマイクロカプセル
	ハダニ類	AKD-1102顆粒水和剤, ダニサラバフロアブル		ハスモンヨトウ	MTI-446水溶剤(顆粒), アクタラ粒剤5, カスケード乳剤, コテツフロアブル, トレボンMC, プリンスフロアブル, プリンス粒剤,
	ネコブセンチュウ	TMZ-9911液剤		ダンゴムシ	ダーズパンペイト

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
キャベツ	ハイマダラノメイガ	プレオフロアブル	たまねぎ	ネギアザミウマ	アドマイヤー顆粒水和剤
	アオムシ	SI-0009乳剤, YS-031乳剤	にら	ネギアザミウマ	MTI-446水溶剤(顆粒), ダントツ水溶剤, オンコルマイクロカプセル
	ウワバ類	フェニックス顆粒水和剤, プレオフロアブル, ジェイエース水溶剤	にんにく	ネギコガ	ジェイエース水溶剤, フローバックDF
	ハスモンヨトウ	SI-0009乳剤	アスパラガス	ネギアザミウマ	オンコル顆粒水和剤
カリフラワー	ヨトウムシ	ジェイエース水溶剤		ジュウシホシクビナガハムシ	MTI-446水溶剤(顆粒)
ブロッコリー	アブラムシ類	ダントツ水溶剤	レタス	アブラムシ類	ダントツ粒剤
	コナガ	アクタラ粒剤5		ネキリムシ類	SYJ-102粒剤
	ヨトウムシ	マトリックフロアブル		ハスモンヨトウ	SI-0009乳剤
	ハスモンヨトウ	カスケード乳剤, プレオフロアブル		オオタバコガ	SI-0009乳剤, ジェイエース水溶剤, モスピラン粒剤
チンゲンサイ	アブラムシ類	ダントツ水溶剤, ランネット45DF	レタス	ナモグリバエ	オンコルマイクロカプセル, ダントツ水溶剤, ハチハチ乳剤, ベストガード粒剤
	コナガ	パダンSG水溶剤, プレオフロアブル		にんじん	ネキリムシ類
	キスジノミハムシ	MTI-446粒剤1		ニンジンアブラムシ	SYJ-102粒剤
こまつな	アブラムシ類	オンコル粒剤5, ジェイエース水溶剤, ダントツ水溶剤, ランネット45DF	バセリ	ヨトウムシ	ランネット45DF
				みつば	ランネット45DF
のざわな	アブラムシ類	SYJ-102粒剤, ランネット45DF	みつば	ワタアブラムシ	ダントツ水溶剤
なばな	ネキリムシ類	ガードベイトA		ハダニ類	カダンセーフ
いちご	アブラムシ類	チエス顆粒水和剤	ほうれんそう	アブラムシ類	オンコル粒剤5, ブルースカイAL
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤, カウンター乳剤		オクラ	ワタアブラムシ
	ハスモンヨトウ	SI-0009乳剤, ネキリトンK	れんこん	クワイクビレアブラムシ	ダントツ水溶剤, ダントツ粒剤
	オオタバコガ	プレオフロアブル		ウスカワマイマイ	NEU-01粒剤
	コガネムシ類	カルホス乳剤	ナメクジ	ナメクジ	NEU-01粒剤
	ハダニ類	AKD-1102顆粒水和剤, NC-512フロアブル, カダンセーフ, ダニサラバフロアブル		きく	アブラムシ類
	ネグサレセンチュウ	クロピクフロー, ネマキック粒剤		アザミウマ類	TGG-6(粒剤), ジェイエース粒剤, チエス顆粒水和剤
ねぎ	ネギアザミウマ	MTI-446水溶剤(顆粒), MTI-446粒剤1, アタプロン乳剤, アドバンテージS粒剤, オンコル顆粒水和剤	オオタバコガ	オオタバコガ	オンコルマイクロカプセル, ジェイエース粒剤, モスピランスプレー
	シロイチモジヨトウ	SI-0009乳剤, ハチハチ乳剤		ハモグリバエ類	コテツフロアブル, ジェイエース水溶剤
	ネギハモグリバエ	MTI-446水溶剤(顆粒), MTI-446粒剤1, SYJ-102粒剤, アクタラ粒剤5, アドバンテージS粒剤, ダントツ水溶剤	ハダニ類	ハダニ類	ダントツ水溶剤
	ネコブセンチュウ	ラグビーMC粒剤		ネグサレセンチュウ	アオバ液剤, カダンセーフ
					クロピクフロー(NK-101), サンメボン油剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ばら	アブラムシ類	F-9512 錠剤, TGG-6 (粒剤), YE-641AL, YS-031 乳剤, YS-032 液剤, アドマイヤー 1 粒剤, トレボン MC	ガーベラ	ハモグリバエ類	TGG-6 (粒剤)
	コナジラミ類	チエス顆粒水和剤	マリーゴールド	ハスモンヨトウ	GL-36 (スプレー)
	ミカンキイロアザミウマ	プリンスフロアブル	バンジー	アブラムシ類	YS-032 液剤, エコピタ液剤 (YE-621), ブルースカイ粒剤
	チュウレンジハバチ	GL-36 (スプレー)	サルビア	ワタアブラムシ	TGG-6 (粒剤), TGG-9 (粒剤)
	ハダニ類	GL-36 (スプレー), PA0101 エアゾル, ダニサラバフロアブル	ペチュニア	アブラムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒), YS-032 液剤, カダン D, ブルースカイ粒剤
カーネーション	アブラムシ類	オンコル顆粒水和剤, ダントツ水溶剤, ベニカ X 乳剤	グラジオラス	ハダニ類	サンヨール液剤 AL
	アザミウマ類	ガゼット MC フロアブル, ハチハチフロアブル, アクタラ顆粒水溶剤, アファーム乳剤	シンビジュム	タブカキカイガラムシ	GL-36 (スプレー)
	ハダニ類	GL-36 (スプレー), SYJ-159 乳剤, ダニサラバフロアブル	キョウチクトウ	キョウチクトウアブランシ	マツグリーン液剤 2
ゆり	アブラムシ類	MTI-446 粒剤 1, ダントツ水溶剤, トレボン MC	ポイント	コナジラミ類	チエス顆粒水和剤, ブルースカイスティック, ブルースカイ粒剤
つつじ	ツツジコナジラミ	サンヨール	さくら	アメリカシロヒトリ	DKI-0309 フロアブル, 花木用ハンドスプレー
	ツツジグンバイ	GL-36 (スプレー), タフバリアフロアブル, マツグリーン液剤 2	さざんか	チャドクガ	ガーデンガード AL, ダブルプレー AL
はぼたん	アオムシ	GL-36 (スプレー), ガーデンガード AL	つばき	チャドクガ	ガーデンガード AL
トルコギキョウ	アザミウマ類	オンコル粒剤 5	はなみずき	アメリカシロヒトリ	マツグリーン液剤 2
	ネコブセンチュウ	ラグビー MC 粒剤	まつ	アブラムシ類	マツグリーン液剤 2
ガーベラ	コナジラミ類	GL-36 (スプレー), チエス顆粒水和剤, トレボン MC	プラタナス	アメリカシロヒトリ	トレボン MC

平成 16 年度の依頼は 148 剤、延べ 1,794 件の試験が実施され、昨年と比べると試験件数で 200 件ほど増加した。本年初めて実用性ありの判定を受けた化合物は、コルト顆粒水和剤 (NNI-0101), AKD-1102 顆粒水和剤, NC-512 フロアブル, NEU-01 粒剤, SYJ-159 乳剤であった。

表-14 平成 16 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤・拔粋（害虫防除：果樹・茶・芝草）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	アブラムシ類	ダントツ水溶剤	なし	ハダニ類	BCI-033 フロアブル, IKA-2002 フロアブル, NC-512 フロアブル, ダニサラバフロアブル
	クワコナカイガラムシ	MTI-446 水溶剤 (顆粒), ダントツ水溶剤, ハチハチフロアブル		アブラムシ類	チエス顆粒水和剤
	カメムシ類	テルスター フロアブル, モスピラン水溶剤		ハマキムシ類	ダーズパン DF
	ケムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)		シンクイムシ類	ハチハチフロアブル, ラーピン一口アブル
	リンゴコカクモンハマキ	フェニックス顆粒水和剤		モモハモグリガ	アクタラ顆粒水溶剤, フェニックス顆粒水和剤
	シンクイムシ類	テルスター フロアブル			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
もも	コスカシバ	改良型スカシバコン	りんご	ナミハダニ	テルスター フロアブル
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル, ダニメツ フロアブル		リンゴサビダニ	オオナタフロアブル
すもも	アブラムシ類	MTI-446 水溶剤(顆粒)	おうとう	オウトウショウウジョウ バエ	ロディー WDG, モスピラン水溶剤
	ナミハダニ	ダニサラバフロアブル		ナミハダニ	AKD-1102 頸粒水和剤, BCI-033 フロアブル, オオナタフロアブル, NC-512 フロアブル
あんず	アブラムシ類	ダントツ水溶剤	かんきつ	コナカイガラムシ類	エルサン乳剤
	ウメシロカイガラムシ	アプロードフロアブル, スプレー オイル		アカマルカイガラムシ	MTI-446 水溶剤(顆粒), アプロードエースフロアブル, ダントツ水溶剤
うめ	ウメシロカイガラムシ	スプラサイド水和剤	ヤノネカイガラムシ	ヤノネカイガラムシ	MTI-446 水溶剤(顆粒)
	ケムシ類	マトリックフロアブル		ミカンキジラミ	MTI-446 水溶剤(顆粒)
ぶどう	コナカイガラムシ類	ダントツ水溶剤, バリアード頸粒 水和剤	カメムシ類	カメムシ類	アドマイヤー頸粒水和剤, モスピ ラン水溶剤
	チャノキイロアザミ ウマ	ABI-031 頸粒水和剤, SI-0205 フロアブル		チャノキイロアザミ ウマ	SI-0009 乳剤
	ブドウサビダニ	オサダンフロアブル	ミカンハモグリガ	ミカンハモグリガ	SI-0009 乳剤, アクタラ頸粒水溶剤, ダントツ水溶剤, ダントツ 頸粒剤
かき	カメムシ類	ダントツ水溶剤, テルスター フロアブル, モスピラン水溶剤	コアオハナムグリ	コアオハナムグリ	モスピラン SL 液剤
	チャノキイロアザミ ウマ	ABI-031 頸粒水和剤	ケシキスイ類	ケシキスイ類	モスピラン SL 液剤
	カキクダアザミウマ	MTI-446 水溶剤(顆粒)	ゴマダラカミキリ	ゴマダラカミキリ	ABI-031 頸粒水和剤, ハチハチ フロアブル
くり	クリシギゾウムシ	TMZ-9911 液剤	ミカンハダニ	ミカンハダニ	AKD-1102 頸粒水和剤, BAI-042 フロアブル, IKA-2002 フロアブル, NC-512 フロアブル
	クリミガ	TMZ-9911 液剤	チャノホコリダニ	チャノホコリダニ	AKD-2136 フロアブル, アプロードエースフロアブル
いちじく	アザミウマ類	オルトラン水和剤, ダントツ水溶 剤	ミカンサビダニ	ミカンサビダニ	BAI-042 フロアブル, アプロードエースフロアブル, リーズン頸粒水和剤
りんご	カメムシ類	ダントツ水溶剤, テルスター フロアブル, モスピラン水溶剤, ロディー WDG	チャコウラナメクジ	チャコウラナメクジ	IC ボルドー 66D・水和剤
	ケムシ類	デルフィン頸粒水和剤	マンゴー	アザミウマ類	ダントツ水溶剤
	ハマキムシ類	カスケード乳剤, テルスター フロアブル	茶	コミカンアブラムシ	MTI-446 水溶剤(顆粒), アクタラ頸粒水溶剤, バリアード頸粒水和剤
	シンクイムシ類	ノーモルト乳剤		クワシロカイガラムシ	S-1551MC1, コルト頸粒水和剤, ショットガン
	キンモンホソガ	アクタラ頸粒水溶剤, コンフューザー AA		チャノミドリヒメヨコバイ	ハチハチフロアブル
	モモシンクイガ	コンフューザー AA		ウスミドリカスマカメ (ツマグロアオカ)	アドマイヤー頸粒水和剤
	ヨモギエダシャク	コテツフロアブル, マトリックフ ロアブル			
	ハダニ類	トモノールS			
	リンゴハダニ	AKD-2136 フロアブル, BCI-033 フロアブル, NC-512 フロアブル			
	ナミハダニ	BCI-033 フロアブル, IKA-2002 フロアブル, NC-512 フロアブル,			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
茶	スミカメ)		芝	シバツトガ	フルスウイング
	チャノキイロアザミ ウマ	ハチハチフロアブル		タマナヤガ	フルスウイング
	チャハマキ	サブリナフロアブル		スジキリヨトウ	ブイボン乳剤、フルスウイング
	カンザワハダニ	ダニメツフロアブル、AKD-1102 顆粒水和剤、BCI-033 フロアブル、NC-512 フロアブル、 ダニサラバフロアブル		コガネムシ類	ビートルコップ顆粒水和剤、フルスウイング、リプレース MC
				シバオサゾウムシ	タフバリアフロアブル

平成 16 年度の落葉果樹分野では 43 薬剤が依頼され、延べ 193 件の試験が受託された。寒冷地果樹分野では 36 剤が依頼、延べ 152 件が受託、常緑果樹分野では 31 薬剤が依頼、延べ 166 件が受託、茶分野では 23 薬剤が依頼、延べ 84 件が受託、芝草分野では 6 剤が依頼、延べ 42 件が受託された。各果樹分野で、ハダニ類対象の新剤の開発が一区切りしたことから、試験薬剤数・件数ともに大幅に減少した。これらの分野では、コルト顆粒水和剤 (NNI-0101) が茶: クワシロカイガラムシで、AKD-1102 顆粒水和剤がとうとう: ナミハダニ・茶: カンザワハダニで、AKD-2136 フロアブルがりんご: リンゴハダニ・かんきつ: チャノホコリダニで、NC-512 フロアブルが各種果樹・茶: ハダニ類で初めて実用性ありと判定された。

表-15 平成 16 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤（害虫防除：生物農薬）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
だいす	ハスモンヨトウ	NK-103	なす	ミナミキイロアザミウマ	ICB-04
野菜類	アザミウマ類	スリパンス	ピーマン	アザミウマ類	CAS-008
野菜類 (施設)	アブラムシ類	ICB-05、プリファード水和剤	レタス	ハスモンヨトウ	NK-103
	アザミウマ類	ボタニガード ES	やし	ヤシオオオサゾウムシ	バイオセーフ

平成 16 年度の生物農薬連絡試験では、24 薬剤が依頼され、延べ 92 件の試験が受託された。一端減少した昨年度と比べると、鱗翅目对象のウイルス製剤が多数実施され、薬剤数・件数とも増加した。NK-103 (核多角体病ウイルス)、ICB-04 (ククメリスカブリダニ)、ICB-05 (コレマンニアブラバチ)、CAS-008 (タイリクヒメハナカムシ) が、初めて実用性ありと判定された。

!好評の「ひと目でわかる果樹の病害虫」!

全 3 卷 B5 判

第 1 卷 ミカン・ビワ・キウイ (改訂版)

本文 176 頁 カラー写真 562 点以上 定価 4,830 円税込 (本体 4,600 円) 送料 340 円

第 2 卷 ナシ・ブドウ・カキ・クリ・イチジク (改訂版)

本文 238 頁 カラー写真 937 点以上 定価 6,720 円税込 (本体 6,400 円) 送料 380 円

第 3 卷 リンゴ・マルメロ・カリン・モモ・スマモ・アンズ・ブルーン・ウメ・オウトウ・ハスカップ

本文 262 頁 カラー写真 991 点 定価 6,117 円税込 (本体 5,826 円) 送料 340 円

CD-ROM 版「ひと目でわかる果樹の病害虫」(for Windows & Macintosh)

全 3 卷の写真データ収録の CD-ROM 版 定価 21,000 円税込 (本体 20,000 円) 送料サービス

お申し込みは直接当協会へ、前金 (現金書留・郵便振替) で申し込むか、お近くの書店でお取り寄せ下さい。

社団法人 日本植物防疫協会 出版情報グループ 〒170-8484 東京都豊島区駒込 1-43-11

郵便振替口座 00110-7-177867 TEL(03)3944-1561(代) FAX(03)3944-2103 メール: order@jppa.or.jp